

人権学習取組の成果発表



校長 長谷川 恵

11月15日(金)、当校で新発田市教育委員会同和教育研究委託事業「同和教育研究発表会」が開催されました。当日は、市内の幼保・小中・高の各校園種の皆様に170人の参加をいかに、充実した研究発表会とすることができました。研究発表会の内容では、開会のあいさつ、これまでの人権教育、同和教育の全体研究説明、全体指導となる全体会、6年生と4年生の公開授業、それぞれの分科会による授業事後の協議会が行われました。

当校の掲げる教育の重点目標は「仲間とともにわくわく・きらきらで人やことに進んでかかわる子ども」です。これは、一人一人がもつ思いや願いを大切に、人とのかかわりを通して個性や能力を生かして共感的な教育活動を進めていくという意味があります。このことは、自他をかけがえのない一人の存在として大切にしようとする人権教育、同和教育がねらっている姿に他なりません。研究指定を受けて2年間、職員も子どもと一緒に自己開示をしたり、同じ目線でもって人権学習に取り組んできました。特色ある「防災」「食」「安全」にかかわる教育活動についても人権教育、同和教育を基盤に置いて、その充実を図ってきました。

以下に、6年生と4年生の当日の授業から、児童の「振り返りの言葉」を記して、両学年とも学習によく取り組んでくれたことをお伝えしたいと思います。

<4年生> 互いを認め合い、共に生きる「障がいがある人への差別」

- 「かわいそう」「自分たちとは違う」という言葉に着目し、話し合いや意見交換を通して、言葉の裏に隠されている自分とは違うという「無意識の差別」について、気付かせたい。また、自分の中にある差別心と向き合わせ、相手の状況や気持ちについて考えながら行動していこうとする気持ちを高める。

- ・ これまでの自分は「かわいそう」「してあげる」などと思っていました。これからは、本人に聞いてから何かをしたり手伝ったりしたいです。
- ・ 今まで、障がいのある人と自分とを比べていたことがあったかもしれない。自分はやさしくしている気持ちでも「かわいそう」は障がいのある方にとって差別されているような感じがしたり、目に見えない大きな壁をつくっていたかもしれないことが今回の学習でわかった。これからは、相手の気持ちを考えて応援したり支えたりしていきたい。

<6年生> 「身近な差別（部落差別）に気づき、これからの自分の生き方を考える」

- 被差別部落に生まただけで差別されることがいかに不当なものであるかを考えさせる。その中で、「自分だったらどうするか」を『自分事』として捉えさせるために被差別者の葛藤場面自分を置き換えて考えさせ、苦悩や不当性に気付かせたい。そして、今ある現実として捉え、主体的に行動し、解決しようとする気持ちを育てていく。

- ・ 本当のことを言う人の意見に対して「私もそう思う」という意見がたくさんありました。そして、そのままだと何も変わらないと言われたとき、本当のことを言わないという意見から、本当のことを言うという意見に変わりました。(お母さんから聞いた言葉から) 部落だからといってまわりのみんなとは、違わないから自信をもって生きていいのだなという安心感が本人にはあったと思います。(でも、) 他の人にそういうことを伝えるのはとても勇気がいることだと思います。
- ・ 最初は言うのが怖くて言う気になれなかったけど、本人の話を聞いて、「言わないといけない、言わないと自分で自分を差別していることと一緒にんだ。」と感じた。西光万吉のことなど様々な差別・偏見を学んできたが、最近の話ではなく先生が言っていることを聞いているだけだったが、実際に差別された人から話を聞いて「本当に部落差別は(今、現実)にあったんだなあ！」と思った。

差別事象は、現実、インターネットによる誹謗中傷など、様々な形で未だに存在しています。子どもたちの未来を信じて、差別のない未来を託すためには、人権教育、同和教育はなくてはならない教育です。当校はこれからも、授業実践にさらに努めて参りたいと思います。

新発田市小学校音楽交歓会 4年生参加

11月6日(水)、市民文化会館で4年生が音楽発表をしました。ずっと一生懸命に練習してきた成果を、しっかり発揮できました。文化祭で中間発表したときよりも、更に一段と素晴らしい合唱と合奏でした。校長先生からも、「今までで一番いい発表でした！」と最大級の賞賛の言葉をいただきました。4年生は、音楽発表を通じて大きな成長を示してくれました。



4年生の作文から

- ◆ ぼくは、音楽交歓会で、大太鼓をリズムよく打つことをがんばりました。他の学校の前でやると思うと、しんぞうがきんちょうしてきました。けれど、やっているうちに楽しくなってきました。そのおかげで、発表を最初から最後まで、6月からやってきたことを楽しくできました。合唱では、ぼくは下のパートを、上のパートとまざらないように歌うことをがんばりました。みんなと一つになって歌うことができたと思います。そして、他の学校もとてもきれいな発表でした。音楽交歓会をとても楽しくできてうれしかったです。
- ◆ 音楽交歓会がありました。二葉小学校のじゅん番がきた時、ドキッとしました。なので、手に人を3回書いてのみこみました。「サザンカ」や「世界が一つになるまで」が始まったとき、みんなの心が一つになったと思います。先生のしきを見るとわかりやすかったです。他の小学校の人とても上手でした。これからも、歌うときや楽器をかなでるときは、心をこめていきたいと思います。

安兵衛 引継式 (11/19)



師弟練習 (～12/6 まで)

19日の朝学習で、5年生と6年生が対面する形で整列し、「安兵衛 引継式」が行われました。その場で、師匠と弟子が出会い、太鼓や笛などの練習を通じた固い絆作りの始まりです。

早速、その日の休み時間に師弟練習が開始されました。教える6年生は師匠の苦勞を感じ、教わる5年生も弟子として上達する難しさを感じていたようです。5年生は37代目となります。歴代の卒業生に肩を並べる演奏を期待します。

「同和教育研究発表会」がありました

平成30年度・令和元年度 新発田市教育委員会 同和教育研究推進委託事業 同和教育研究発表会
がありました。たくさんの教育関係者がいる中、4年1組、6年1組の子どもたちはこれまで学習して
きた差別に対する気持ちを自分のこととして一生懸命考えていました。

【4年生の学習の様子】

4年生はこれまでの人権学習で障がいがある方との交流をして
きました。その中で「かわいそう」や「自分とは違う」という感覚
をもっている子も多くいました。そこで、車椅子バスケットボール
を教えてくれた板倉さんの差別体験をもとにした資料を使って学
習しました。たくさんの参観者がいるため、体育館での学習では
が、自分の意見を積極的に言ったり、お互いの意見をうなずきなが
ら聞いたりしながら、考えを深めていました。



＜参観者の声＞

- ・大勢の人がいる中で、互いの意見をしっかりと交流していてすごい
と思いました。自分の意見を言うだけでなく、相手の意見もしっかり
聞いている様子が印象的でした。
- ・子どもたちが真剣に考え、話し合っている姿がすばらしかったで
す。実際の体験や、かかわりのあった人を題材にして取り上げたこ
とで、自分たちに近いものとして考えている姿が見られました。



【6年生の学習の様子】



6年生は、部落差別問題を人権学習で学んでいます。これまでの学習で
「部落差別は許せない」「差別はなくさないといけない」という気持ちをも
ってきました。しかし、部落差別は過去の話、自分とは遠いところの話
という認識をもっていました。そこで、当事者の実際の話をもとにした資
料を使い、自分だったらどう行動するかについて、意見を交流していきま
した。部落差別問題を自分のこととして考える姿は、参観者の方にも感動
を与えていました。

＜参観者の声＞

- ・児童たちと先生方の熱心な様子をみて感動しました。表現力が素
晴らしく、みんな一生懸命に書いているところから、普段の学習
の成果が出ているなと思いました。
- ・子どもたちの熱を感じるよい授業でした。批判し合うことなく互
いの意見をぶつけている。一方的ではなく、しっかりと受け止め
て投げるキャッチボールができていた。すばらしかった。



＊PTA教養部の皆様から当日の運営にご協力いただきました。ありがとうございました。

2月下旬までの主な予定



日にち	行事等
12/ 2(月)	全校朝会 P T A登校指導
12/ 4(水)	縦割り集会 P T A評議員会
12/20(金)	給食最終日 4 限授業
12/23(月)	地域子ども会 3 限授業
12/24(火)	2 学期終業式 冬季休業 (12/25～1/6)
1/ 7(火)	3 学期始業式 P T A登校指導
1/ 8(水)	4 限授業 給食開始
1/ 9(木)	平常授業開始 書き初め大会
1/10(金)	1・2 年生そり
1/15(水)	学習参観 (いのち・人権) 5 限人権講話
1/17(金)	4 年生スキー
1/24(金)	5・6 年生スキー
1/25(土)	育成協「和菓子作り体験教室」
1/30(木)	家庭生活パワーアップ週間 (～2/5)
1/31(金)	3 年生スキー
2/ 3(月)	全校朝会 P T A登校指導 本丸中入学説明会 (6 年)
2/ 4(火)	二葉小入学説明会 新 1 年生学校体験
2/14(金)	上学年参観日 懇談会
2/21(金)	下学年参観日 懇談会
2/26(水)	6 送会
2/27(木)	児童委員会 (引継 5 年新メンバー)

校内書初め大会

1・2 年生は硬筆（鉛筆書き）です。3 年生以上は毛筆で、長い紙に書きます。冬休みにも、各学年で同じお手本で練習するよう宿題が出され、冬休み明けに提出することになります。

この日は、朝から、新年を迎えた清新な気持ちで、一筆一筆に心を込めて書きます。練習の総仕上げです。一人一枚、よくできた作品を校内に 1 月 15 日～22 日まで掲示します。学校でも作品の鑑賞の時間を設定して、友だちのよさを見る目を指導します。保護者の皆様も、15 日の学習参観日の際にでも、ぜひ御鑑賞ください。

人権講話

後日、学校から案内文書が出ますが、この日、5 時間目の学習参観の後に、人権講話を実施します。講師に、医学博士の藤井輝明さんをお招きします。藤井さんは、「てるちゃんのかお」という絵本を、自身の体験をもとに執筆され、顔に病気や傷を抱える人の偏見・蔑視をなくすため、全国各地で講演活動を行っています。

絵本の「てるちゃんのかお」は、二葉小学校でも人権学習の授業に取り入れています。



読書ボランティアの活動

11 月 20 日は、ボランティアの皆さんから読み聞かせをたくさんしていただきました。特に、5 年生は、緑町にお住まいの小坂井さんと、城北町にお住まいの船木さんから、干支のお話を英語と日本語でしていただきました。干支のお話は 11 年継続しているそうです。たいへんお世話になっています。

また、昼休みには、読書ボランティアの方々の発案で、5・6 年生の希望者が世話役となり、しおり作りをしました。塗り絵をした紙を、ラミネーターで加工して、楽しいしおりができあがりました。子どもたちは大喜びでした。

ベルマークの寄付

二葉小学校に隣接しています『丸運建設株式会社 下越支店』様より、昨年に引き続き、ベルマークを 370 枚 990 点分、インカートリッジ 2 個を寄付していただきました。

PTA 教養部ベルマーク収集箱に入れさせていただきました。ありがとうございました。

